

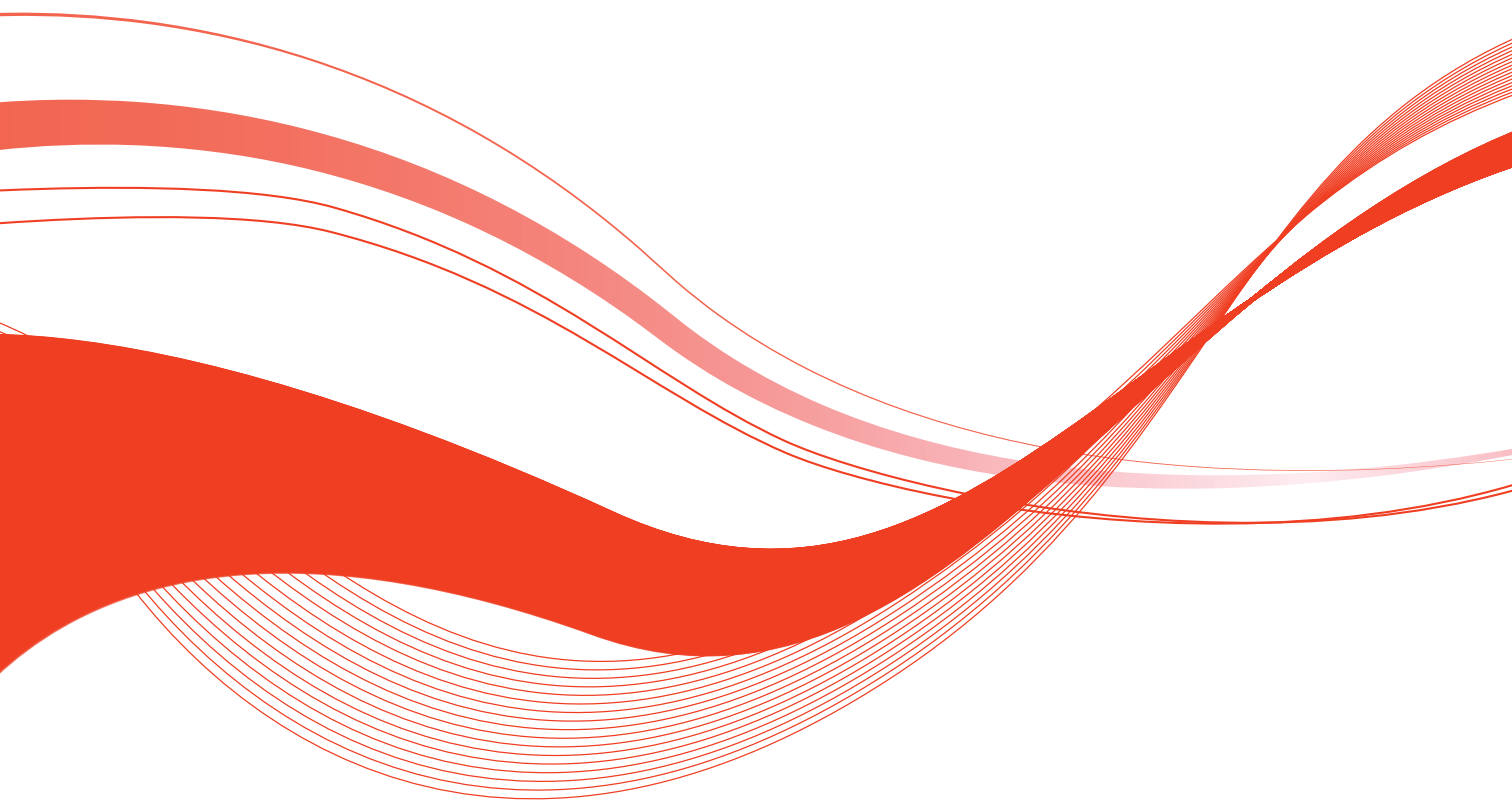
北越銀行からみなさまへ
もっと伝えたい、ホクギンのこと



2017

中間ミニディスクロージャー誌
第113期 事業の中間ご報告

平成29年4月1日－平成29年9月30日



北越銀行からみなさまへ もっと伝えたい、ホクギンのこと



プロフィール

本店所在地／新潟県長岡市大手通
二丁目2番地14

創業／明治11年12月20日

総資産／2兆7,792億円

資本金／245億円

店舗数／84店舗(新潟県内79、県外5)

従業員数／1,519人(うち出向者58人)

(平成29年9月30日現在)

北越銀行の行是

北越銀行は
広く金融サービスを提供し
顧客に信頼され
役に立つ銀行として
地域社会の発展に貢献する

目次

ごあいさつ	1
第19次長期経営計画	2
第四銀行との経営統合	3
業績ハイライト	4
TOPICS	8
地域とともに	9
法人のお客さまへのビジネスサポート	12
個人のお客さまへのライフサポート	13
株式のご案内・当行の役員	14
財務諸表	16

※1 本誌上の記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※2 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものであり、経営環境の変化等により、計画または予想の数値と異なる結果となる可能性があります。



ミニディスクロージャー誌「北越銀行からみな
さまへ」についてのアンケートを当行ホーム
ページにおいて実施しています。
皆さまの声を聞かせください。

北越銀行

検索

ごあいさつ

皆さまには、平素より北越銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび平成29年度中間決算の内容や当行の商品・サービス等についてわかりやすくご紹介したミニディスクロージャー誌「北越銀行からみなさまへ」を発刊いたしました。本誌により当行へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

当行は、前身である第六十九国立銀行の設立以来、本年12月20日をもって創業140年を迎えることとなりました。

これもひとえに、お客さまや株主・地域の皆さまの温かいご支援、ご愛顧の賜物であり、深く感謝申し上げます。

この節目の年にあたり、当行では、新しくスタートさせた第19次長期経営計画（計画期間：平成29年4月～平成32年3月）のもと、「最適なソリューションを通じて、お客さまとの共通価値を創出し、地元の発展に力を尽くす銀行」を経営目標に掲げ、各種の取組みをすすめています。

また、本年4月には株式会社第四銀行と経営統合に関する基本合意書を締結し、平成30年10月の持株会社設立にむけて、両行で協議をすすめているところです。

両行が長年にわたり培ってきたお客さまとの信頼関係や地域への深い理解を結集させ、経営資源を強化することで、お客さまの企業価値の最大化へのご支援や利便性向上に取り組み、地方創生、地域経済の発展への貢献を永続的に果たして参ります。

今後とも、一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成29年11月

取締役頭取 佐藤勝弥



第19次長期経営計画

第19次長期経営計画(計画期間 29/4～32/3)を策定し、今年度からスタートさせています。

「最適なソリューションを通じて、お客さまとの共通価値を創出し、地元の発展に力を尽くす銀行」を経営目標に掲げ、徹底して地元にごだわった営業を推進して参ります。

第19次長期経営計画 (平成29年4月～32年3月)

～ ひたすら地元のために、そして明日(みらい)へ～

主な経営環境

人口減少

マイナス金利

フィンテック

戦略の方向性

「地元で生きていく」

「ソリューションで稼ぐ」

「非対面チャネルで
もっと稼ぐ」

「経営基盤を強靱にする」

経営目標

「最適なソリューションを通じて、お客さまとの共通価値を創出し、地元の発展に力を尽くす銀行」

ソリューション営業戦略

顧客営業・チャネル戦略

地方創生戦略

グループ戦略

重点課題

最良のソリューション・
パートナーへの脱皮

いかなる環境変化にも耐える
収益構造への変革

経営基盤の強靱化と
グループシナジーの発揮

経営基盤強靱化戦略

人材力・組織力強化戦略

業務改革戦略

リスクマネジメント・
市場運用戦略

第四銀行との経営統合

北越銀行と第四銀行は、両行株主の承認および関係当局の認可を前提に共同株式移転の方式により、平成30年10月(予定)に持株会社「第四北越フィナンシャルグループ」を設立する準備をすすめています。

経営統合によりお客さまに還元される効果

- 1 経営統合によって、経営資源を強化することで、
- 2 お客さまの利便性の向上やお客さまの企業価値最大化のご支援に取り組み、
- 3 地方創生、地域経済の発展への貢献を永続的に果たしていく。

当行と第四銀行は、本年4月5日の基本合意以降、これまで計4回の統合準備委員会を開催し、経営統合にむけた協議の基本となる方針や具体的なスケジュールならびに各専門部会の活動状況などを確認するとともに、持株会社の組織設計などについて話し合いを行ってきました。

この度、持株会社の設立時期を半年間延期するなどのスケジュールの変更を行いました。両行で本経営統合の第一の目的である「地域への貢献」の早期実現にむけて、引き続き準備活動をすすめて参ります。

●持株会社の主な組織体制

機関名	機能
経営企画部	新金融グループの経営戦略の立案、業務運営の統括
グループ戦略推進部	経営統合効果の最大化にむけた施策の立案・遂行
リスク管理部	新金融グループ全体のリスク管理を統括
監査部	新金融グループの内部監査を統括

●統合準備委員会の開催状況

	開催時期	主な合意・確認事項
第一回	平成29年5月	統合準備委員会の運営方針、スケジュールについて
第二回	7月	持株会社の組織設計にかかる基本的な考え方について
第三回	9月	持株会社「第四北越フィナンシャルグループ」の組織体制について
第四回	10月	経営統合にむけたスケジュールの変更について

●今後のスケジュール(予定)

	変更前	変更後
共同株式移転に関する最終契約締結	平成29年10月	平成30年5月まで
両行株主総会開催(株式移転計画の承認決議)	平成29年12月(臨時株主総会)	平成30年6月(定時株主総会)
持株会社の設立日	平成30年4月2日	平成30年10月1日



経営統合に関するよくあるご質問とその回答

第四銀行との経営統合に関するよくあるご質問については、当行ホームページに掲載しています。

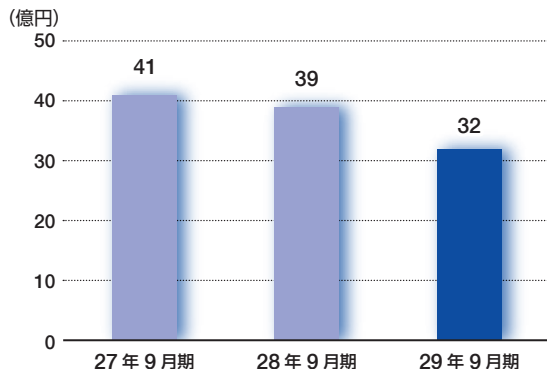
北越銀行 経営統合

検索

収益の状況

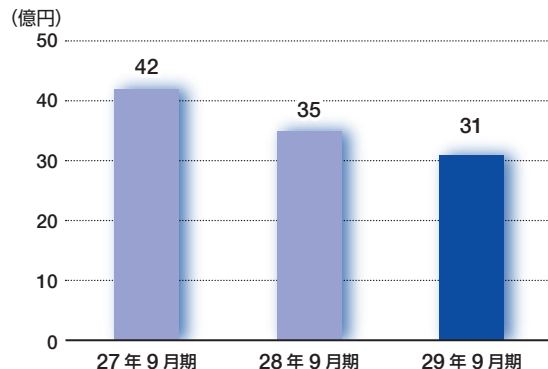
◆ コア業務純益

コア業務純益は、粗利益の減少に加え、経費（創業140年記念事業等）が増加したことなどから、前年比7億円減少し、32億円となりました。



◆ 中間純利益

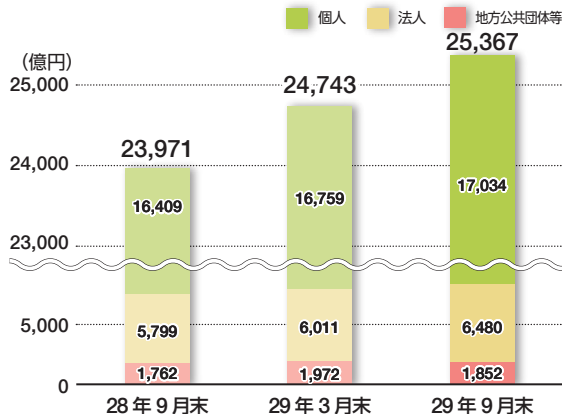
中間純利益は、役務取引等利益は増加したものの、金利低下による貸出金利の減収や、経費の増加などから前年比3億円減少し、31億円となりました。



預金等および個人預り資産の状況

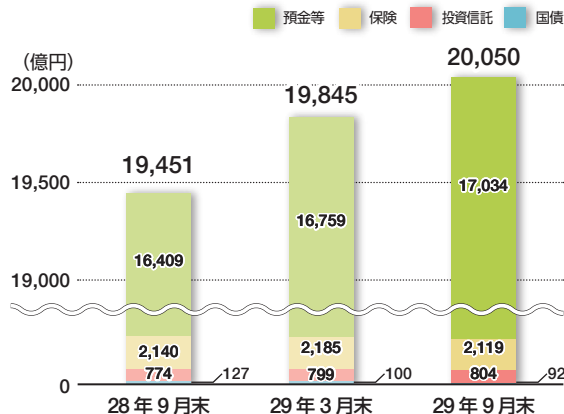
◆ 預金等残高

預金等残高は、個人預金および法人預金が堅調に増加し、前年同期比1,395億円プラスの2兆5,367億円となりました。



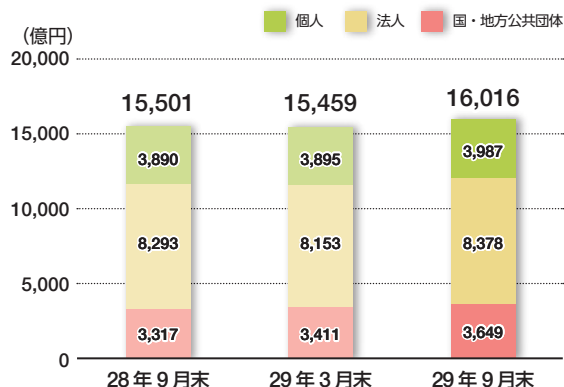
◆ 個人預り資産残高

個人預り資産残高は、預金等と投資信託が増加しており、全体では2兆円を超えました。



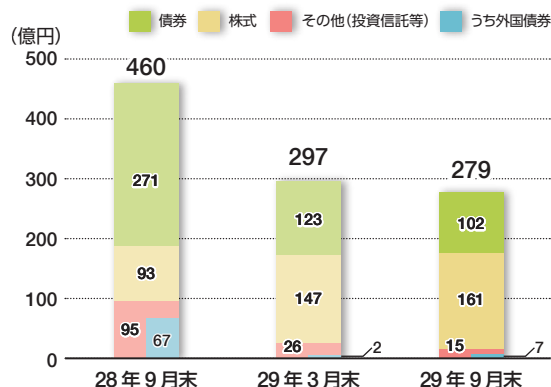
貸出金の状況

貸出金残高は、個人、法人、国・地方公共団体の全セクターで増加し、29年9月末では1兆6,016億円となりました。



有価証券の状況

有価証券評価益は、株価の上昇により、株式の含み益は増加した一方、債券やその他有価証券の含み益が減少し、279億円となりました。

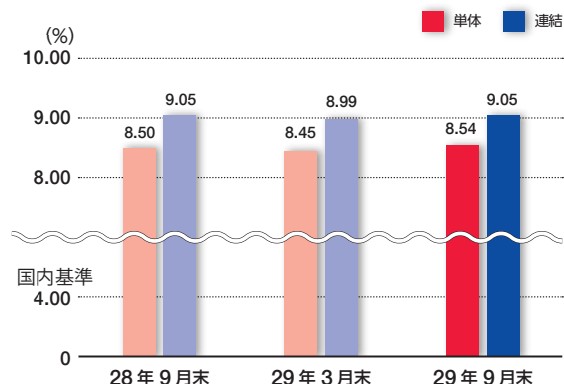


自己資本比率

単体自己資本比率(29年9月末) **8.54%**

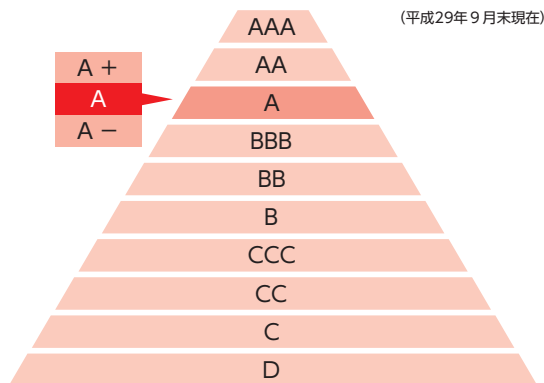
連結自己資本比率(29年9月末) **9.05%**

自己資本比率は、利益による内部留保の積上げにより上昇し、単体8.54%、連結9.05%となりました。



当行の格付け

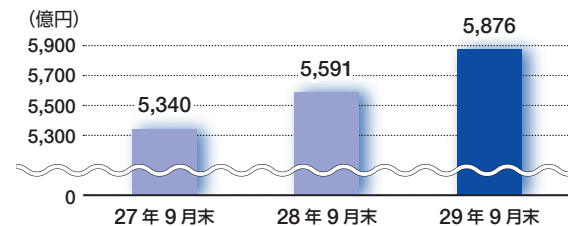
当行は、株式会社日本格付研究所から格付けを取得しており、「A」（債務履行の確実性は高い）との評価を得ています。



地元における取引基盤拡大の取組み状況

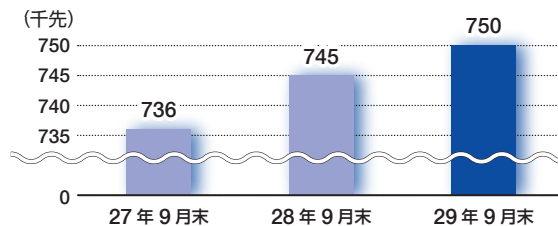
人口減少を踏まえた対応として、取引基盤の拡大に継続して取り組んでいます。また、重点的に取り組んでいる地元中小企業向けの貸出金についても、堅調に増加しています。

◆ 地元中小企業向け融資残高



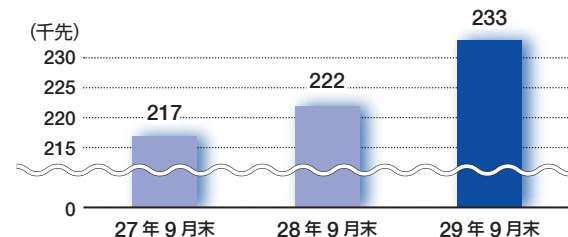
(注) 地元中小企業 = 中小企業向け融資から、運用目的の貸出金・シンジケートローンを除いたもの

◆ 個人のお取引先数

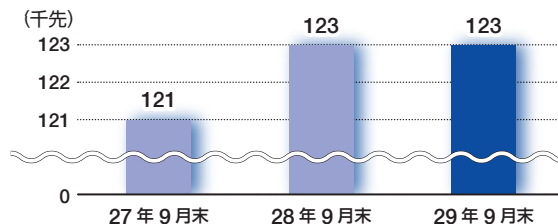


(注) 総預金平残 1万円以上の先数

◆ 給与振込いただいているお客さま



◆ 年金振込いただいているお客さま

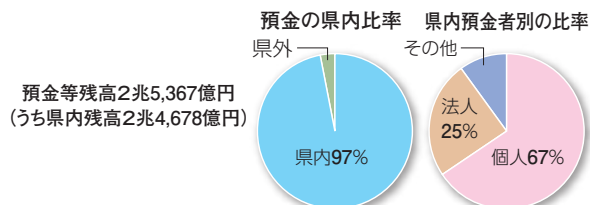


新潟県内の預金・貸出金の状況

◆ 新潟県内の預金の状況

平成29年9月末の新潟県内の預金等残高は、2兆4,678億円と全体の97%となっております。

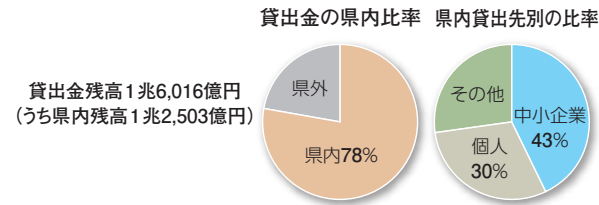
また、県内預金残高のうち個人のお客さまからの預金が約7割を占めています。



◆ 新潟県内の貸出金の状況

平成29年9月末の新潟県内の貸出金残高は、1兆2,503億円と全体の78%となっております。

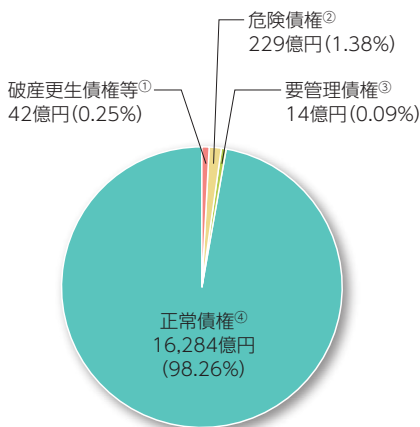
また、県内貸出金残高のうち中小企業および個人のお客さまのご利用によるものが約7割を占めています。



不良債権の状況（金融再生法に基づく開示債権）

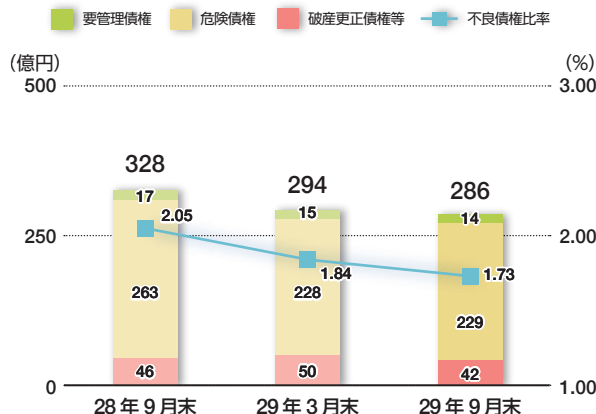
金融再生法基準の不良債権残高は、平成29年9月末現在で286億円、債権額に占める不良債権の割合は1.73%となりました。

金融再生法に基づく開示債権の構成比



(平成29年9月末現在)

金融再生法開示債権額と不良債権比率の推移



金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、286億円となりました。この債権額の88.10%は担保・保証等や引当金によりカバーされており、十分な保全状況となっています。

(単位:億円)

区分	与信残高	担保・保証による保全額	引当金	保全率
破産更生債権等	42	37	4	100.00%
危険債権	229	178	23	88.16%
要管理債権	14	7	0	52.94%
開示債権合計	286	223	29	88.10%
正常債権	16,284			
総与信	16,571			

用語解説

①破産更生債権等

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

②危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権

③要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

④正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権

(「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権)

柏崎市との連携協定締結

平成29年9月、人口減少と少子高齢化の課題解決にむけ、定住人口の増加ならびに地域経済の活性化を図ることを目的として柏崎市と「地方創生に向けた連携協定書」を締結しました。



「六日町支店」を新築移転オープンしました。

11月13日に「六日町支店」を新築移転いたしました。ATMコーナーを拡張したほか、ロビーに休憩スペースを設置し、地域の皆さまに「憩いの場」として利用いただける店舗です。

より便利にご利用いただけるよう、最新鋭のATMを5台設置したほか、さまざまなセミナーを開催できるようセミナールームも新設しました。



完成パース

創業140年記念講演会

創業140年の節目を迎えるにあたり、「ゆたかな明日のために」を統一テーマとした講演会を新潟県内各地で開催しました。

4月には作家の五木寛之氏を講師に招いて開催したほか、最終回(11月)には、京都・清水寺の森清範貫主をお迎えし、講演会に加え、貫主による揮毫の実演も行われました。



女性異業種交流会

平成29年9月、損害保険ジャパン日本興亜株式会社長岡支社の女性職員との交流会を実施しました。

「女性が活躍できる職場づくり」をテーマとし、グループ毎に①企業に望む支援、②職場の男性に期待すること、など熱心なディスカッションが行われました。

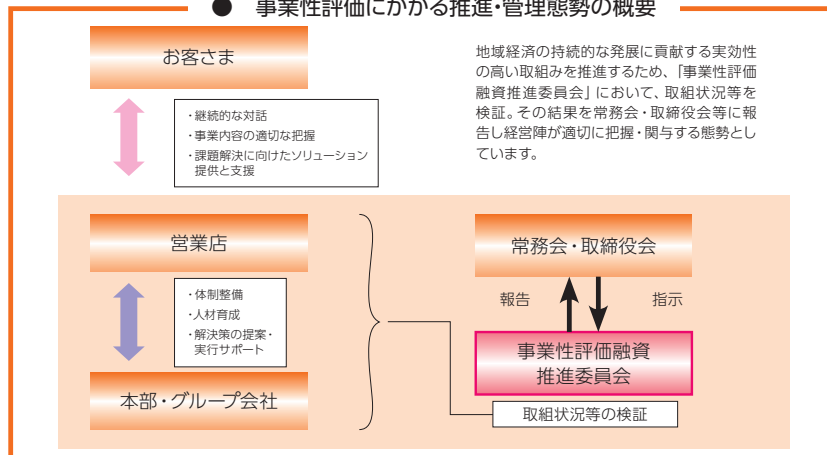


事業性評価への取組み

当行では、お客さまの事業内容、業界特性、成長戦略等を適切に評価(事業性評価)したうえで、経営者保証に関するガイドラインの趣旨も踏まえながら、担保・保証に必要な以上に依存しない融資への取組みを強化しています。

また、29年4月には本部組織を改正し、融資部内に「事業性評価グループ」を設置しています。

● 事業性評価にかかる推進・管理態勢の概要



クラウドファンディングへの取組み



株式会社アグリコア様
雪を生かし、雪に生かされる「越後ワイン」



近藤酒造株式会社様
オール五泉にこだわった菅名岳

地域の魅力ある特産品を応援し広くPRしていくことで地域経済の活性化にむけた取組みを積極的に展開していきます。

・クラウドファンディングとは？

インターネットを介して個人から少額の資金を調達する仕組み。資金調達者の「顔がみえやすい」仕組みであり、個人が個々の事業者の「思い」に応じて資金を供給する側面が強いことから、中小事業者等にとってマーケティングやファンづくりの手段、起業のための学習の場としても活用されています。



有限会社いなほ新潟様
塩沢産特別栽培米コシヒカリ



株式会社ホクシヨク様
こだわりの商品ラインナップ

長岡市と連携した地元名産品の存続支援

長岡市との地域密着型包括連携協定を活用した情報共有によって、後継者不在を理由に廃業を予定していた株式会社米百俵本舗様が、地元長岡の故事に因んだ銘菓『米百俵』の製造販売権を岩塚製菓株式会社様に譲渡する支援を行いました。

地域で親しまれている『米百俵』ブランドの存続とともに、地域の雇用維持にもつながりました。



銘菓『米百俵』



写真右 岩塚製菓社長、左 米百俵本舗社長

創業140年記念ファンド200億円突破

創業140年を迎えるのにあわせて、平成29年6月19日から、総額200億円限定で「創業140年記念 地方創生応援ファンド」の取扱いを開始しました。

本商品は、商品から得られる収益の一部を、新潟県が推進する6つの事業(少子化対策、社会福祉、女性活躍、文化・教育、観光振興、雇用創出)へ寄付することで、地方創生の推進を図るものです。

3ヶ月ほどで200億円を超えるお申込をいただいたことから、ご好評にお応えして取扱総額を300億円に増額し、更なる地方創生を図っていきます。

また、幅広いお客さまからご利用いただけるよう、ご融資金額を「1千万円」から「5百万円」にいたしました。



新潟県副知事を表敬訪問

「創業140年記念 米百俵 私募債ファンド」の取扱開始

当行の創業140年(平成29年12月)を記念して、平成29年10月から収益の一部を「公益財団法人 北銀奨学会[※]」へ寄付することで、返還義務のない「給付型奨学金」の支給を支援し、未来を担う若者の大学進学を応援する融資商品の取扱いを始めました。

当行は旧長岡藩の故事である「米百俵」の精神を受け継ぎ、新潟と日本の将来のため、地域の人材育成に貢献して参ります。

※社会に有為な人材の育成を目的に、昭和37年に北越銀行の創業85年を記念して設立。

これまで55年間にわたり、1,108名の奨学生に返済義務のない奨学金を支給しています。



トキ保護活動への支援

新潟県の鳥「トキ」の保護に協力するため、役職員の募金とあわせて、昭和43年から毎年保護活動に寄付を行っています。

また、投資信託「トキ応援ファンド」と「トキ子育て応援ファンド」の信託報酬の一部を「新潟県トキ保護募金」に寄付しています。さらにトキの舞う棚田の保全活動ボランティアにも参加しています。

当行では、引き続き、トキが安心して暮らせる環境づくりを支援して参ります。



トキ保護活動ボランティア（佐渡市）



自主参加募金組織「北銀まごころの会」

当行役職員が毎月お金を拠出し、地域福祉や環境保護等への寄付事業や行員のボランティア参加などを通じて、地域に根ざした活動を地道に続けています。



長岡八方台植樹

北越銀行賞

北越銀行賞は当行創業100年(昭和52年)を記念して創設し、新潟県内の社会福祉に貢献した団体・個人を毎年表彰しています。これまでに432の団体・個人の方が受賞されています。



公益財団法人 北銀奨学会

当行創業85年(昭和37年)に、社会有用の人材を育成することを目的として設立され、新潟県内の高等学校を卒業し学業優秀でありながら経済的理由により大学への修学が困難な若者に対し、返還義務のない奨学金を給付しています(奨学金給付累計1,108名)。

平成29年度は奨学生懇談会において講演や企業見学を実施し、奨学生支援の取組みを行っています。



すこやか北越銀行杯小学生バレーボール大会

少年少女の健全な心身の成長とスポーツを通じた親睦を目的に、平成元年から協賛しています。

毎年、県内各地から100を超えるチームが日頃の練習の成果を發揮して白熱した戦いを繰り広げ、新潟県のバレーボールはこの大会とともにレベルアップをしてみました。



「M&A」「事業承継」サポート

中小企業向け支援サービスの一環として、新分野進出など成長戦略につながるM&Aや、経営者の高齢化や後継者問題など事業承継問題に取り組んでいます。本部専門スタッフがお客さまの業容拡大や事業承継ニーズにお応えするため、各種対策の検討、ご提案を行います。

ビジネスマッチング（企業紹介）

新たな販売先、仕入先、提携先の紹介等、お客さまのパートナー探しをお手伝いします。

また、お客さまの多様な経営課題を解決するための専門企業をご紹介します。

【提携先紹介サービス一覧】

- | | | |
|-------------------|----------------|-------------------|
| ● ISO認証取得コンサルティング | ● 医療福祉コンサルティング | ● 企業格付け取得 |
| ● 企業セキュリティ | ● 経営コンサルティング | ● ビジネスコーチング |
| ● オペレーティングリース | ● コンビニ出店支援 | ● 売掛債権保証 |
| ● エコ・コンサルティング | ● 投資育成 | ● 食の販路開拓支援 |
| ● 不動産活用サポート | ● リースサポート | ● 海外リースサポート |
| ● 人材マッチング | ● ふるさと投資支援 | ● 電力料金削減サポート |
| ● 子育て応援サポート | ● ストレスチェックサービス | ● ものづくり企業支援 |
| ● 仕事と介護の両立サポート | ● 事業承継サポート | ● オシゴトの改善コンサルティング |

技術協力室

地元のものづくりを支援するため、昭和58年から地元中小企業が抱える技術的課題に対する指導・アドバイス等を行う「技術協力室」を設置し、大学の有識者等の学識経験者が常勤顧問として、行員とともに取引先を訪問し技術的な相談に応じています。



海外ビジネスサポート

海外販路開拓、製造コスト削減などさまざまな理由による新規の海外進出、あるいは既存海外事業の拡大、多様化など、お客さまの細かなニーズに対応し、多方面から支援しています。

- ① 海外進出（現地法人設立、撤退など）に関する相談
- ② 輸出入、海外送金、保証状などに関する実務相談
- ③ 為替リスクヘッジの相談・提案
- ④ 海外投資、経済情勢などの情報提供

経営改善支援

企業の皆さまによる経営改善の取り組みなどを支援するため、次のようなサポートを行い、地域経済の活性化に役立つよう努めています。

- お客さまの決算書をもとに「財務データによる企業評価報告書」を作成し、財務面での現状分析等にご活用いただいています。
- 中小企業再生支援協議会や事業再生ファンドなどの外部機関と連携し、経営課題の解決にむけた情報提供やコンサルティング、事業再生支援を行っています。
- 本部専門スタッフや営業店の経営改善支援責任者による経営改善支援（計画の策定支援や継続的なモニタリング実施など）をすすめるとともに、担当者向け研修の充実を図っています。



外国人技能実習制度セミナー

ロボ・アドバイザー

多様化するお客さまの資産運用ニーズにお応えするため、ファンド選定をサポートするAI（人工知能）であるロボ・アドバイザー「Funds Robo」を導入し、これに対応したインターネットバンキング専用の投資信託23ファンドを取扱っています。



ロボ・アドバイザー「Funds Robo」

ロボ・アドバイザー「Funds Robo」は7つの簡単な質問に回答いただくと全23ファンドの中からお客さま毎に最適なファンドの組み合わせを提案するAIです。

スマートフォンアプリ「スマホがホクギン」

「スマホがホクギン」はお客さまのスマートフォンを通じて、いつでも・どこでも・簡単な操作で、①口座開設、②残高・取引明細照会、③入出金通知（入出金があった際にスマホにお知らせ）、④プッシュ通知（キャンペーンなどの各種お知らせ）、⑤各種キャンペーン等と連動したお得なクーポンのお受け取りの5つの機能を提供するサービスです。



カードローン「べんリーナ365」、フリーローン「べんリーナ365」

「来店不要」「返済用口座不要」「電話・インターネットで365日申込み可能」が特徴のカードローン「べんリーナ365」に、フリーローンタイプを追加しています。

カードローン、フリーローンともに①ご融資金額は最高800万円、②ご融資金利は年3.0%から年14.6%でご利用いただける「べんり」なローンです。



「ガン団信金利上乗せ不要キャンペーン」 「住宅ローン優待サービス」

平成28年12月から、「ガン保障特約付き団体信用生命保険」の金利上乗せ（+0.2%）を不要とする「ガン団信金利上乗せ不要キャンペーン」を実施しています。「ガン保障特約付き団体信用生命保険付き住宅ローン」は、ガンと診断されたら、住宅ローン残高が0円になる「ガン保障特約」に加え、「①ガン先進医療特約」「②上皮内ガン・皮膚ガン保障特約」「③リビングニーズ特約」の3つの保障特約が付保された、お客さまに「あんしん」いただける住宅ローンです。

さらに、新規で住宅ローンをご契約いただいたお客さま全員を対象として、引越料金やハウスクリーニング料金の割引等が受けられる「住宅ローンご優待サービス」を提供しています。



北越キャッシュJCBカード

キャッシュカードとクレジットカードが1枚になった「北越キャッシュJCBカード」は、平成28年3月の取扱い開始以降ご好評をいただいております。主な特徴は次の3つです。

- ①ふたつのカード機能が1枚になり「便利」に！
- ②一般カードは初年度年会費が無料で「お得」に！
- ③JCBチップを搭載し高度なセキュリティで「安心」に！

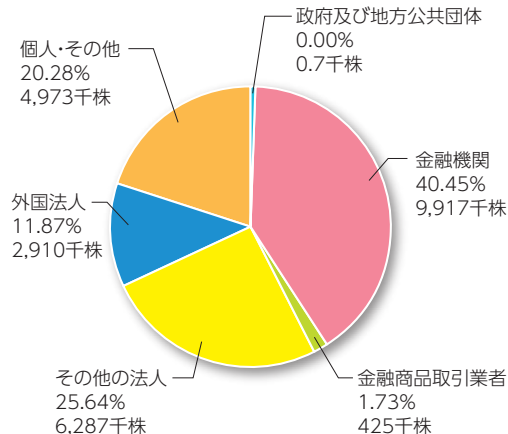


株式のご案内・当行の役員

株式の状況

(平成29年9月30日現在)

- 発行済株式総数 24,514千株
- 株主数 8,694名
- 所有者別株式数



大株主

(平成29年9月30日現在)

氏名または名称	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,300千株	13.46%
明治安田生命保険相互会社	1,216千株	4.96%
三星金属工業株式会社	1,003千株	4.09%
北越銀行従業員持株会	567千株	2.31%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	527千株	2.15%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	442千株	1.80%
坂井商事株式会社	434千株	1.77%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	423千株	1.72%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	402千株	1.64%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	400千株	1.63%
計	8,716千株	35.55%

(注1) 上記ほか当行所有の自己株式527千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合2.15%)があります。

(注2) 持株数、持株比率とも表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式のご案内

事業年度と剰余金の配当のお支払い

当行の事業年度は毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。
剰余金の配当は、毎年3月31日の株主名簿に基づき、定時株主総会終了後ご指定の方法でお支払いいたします。
中間配当を行うときは、取締役会の決議により毎年9月30日の株主名簿にもとづき、ご指定の方法でお支払いいたします。

定時株主総会

毎事業年度末日日から3ヵ月以内に開催いたします。

基準日

当行の定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。

単元株式数

100株

株式取扱手数料

- 株式名義書換……無料
- 単元未満株式の買取り
…買取代金に対して所定の方法で算出(別途消費税相当額を加算)
- 単元未満株式の買増し
…買増代金に対して所定の方法で算出(別途消費税相当額を加算)

公告方法

公告は当行ホームページ
(<http://www.hokuetsubank.co.jp/>) に掲載いたします。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)
お問い合わせ先・ご郵送先

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

◆単元未満(100株未満)の株式をご所有の株主さまへ
1単元(100株)に不足している株式を買い増し1単元に
する「買増請求制度」や、1単元未満の株式を当行が買い取りさ
せていただく「買取請求制度」がございます。ご利用の場合は、
口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。
また、特別口座に記録された株式の場合は、口座管理機関で
あるみずほ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

株主優待制度

本年12月に創業140年を迎えるにあたり、これまで支えていただいた株主の皆さまへの感謝の気持ちと、当行株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまから中長期的に当行株式を保有いただけるよう、株主優待制度を導入しております。

●対象となる株主さま

毎年3月31日を基準日とし、100株(1単元)以上の株式を継続して1年以上保有する※株主さまを対象とさせていただきます。

※「継続して1年以上保有する」の確認について

毎年3月31日および9月30日現在の当行株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上記録された株主さまが対象となります。

●株主優待制度の内容

地元新潟県の特産品、公益財団法人北銀奨学会への寄付および金券類等を掲載したカタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。

100株以上1,000株未満	3,000円相当の優待品
1,000株以上	6,000円相当の優待品



当行の役員

(平成29年6月23日現在)

取締役会長(代表取締役)	荒城哲	取締役(総合企画部長)	高橋信
取締役頭取(代表取締役)	佐藤勝弥	取締役(本店営業部長)	星浩喜
専務取締役(代表取締役)	広川和義	取締役(社外)	福原弘
常務取締役	室本一郎	取締役(社外)	竹内希六
常務取締役	海津博之	常勤監査役	豊岡幹也
常務取締役	熊倉哲	常勤監査役	野水秀一
常務取締役	佐藤輝	監査役(社外)	北村敏雄
取締役(新潟支店長)	渡辺雅美	監査役(社外)	渡邊四朗
取締役(融資部長)	高橋隆二		

第113期中 中間貸借対照表

（平成29年9月30日現在）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	181,754	預金	2,443,269
商品有価証券	1,432	譲渡性預金	93,510
金銭の信託	2,001	債券貸借取引受入担保金	98,660
有価証券	918,897	外国為替	294
貸出金	1,601,605	その他負債	16,430
外国為替	12,512	賞与引当金	817
その他資産	24,271	睡眠預金払戻損失引当金	693
有形固定資産	29,028	偶発損失引当金	450
無形固定資産	1,210	繰延税金負債	2,121
前払年金費用	5,574	再評価に係る繰延税金負債	2,875
支払承諾見返	6,064	支払承諾	6,064
貸倒引当金	△ 5,082	負債の部合計	2,665,188
		(純資産の部)	
		資本金	24,538
		資本剰余金	16,964
		資本準備金	16,964
		利益剰余金	51,652
		利益準備金	2,367
		その他利益剰余金	49,285
		繰越利益剰余金	49,285
		自己株式	△ 1,286
		株主資本合計	91,868
		その他有価証券評価差額金	19,690
		繰延ヘッジ損益	△ 210
		土地再評価差額金	2,615
		評価・換算差額等合計	22,095
		新株予約権	118
		純資産の部合計	114,082
資産の部合計	2,779,271	負債及び純資産の部合計	2,779,271

第113期中 中間損益計算書

（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）（単位：百万円）

科目	金額
経常収益	19,610
資金運用収益	13,728
（うち貸出金利息）	（ 8,712 ）
（うち有価証券利息配当金）	（ 4,997 ）
役務取引等収益	3,400
その他業務収益	1,533
その他経常収益	949
経常費用	15,725
資金調達費用	853
（うち預金利息）	（ 303 ）
役務取引等費用	2,023
その他業務費用	1,035
営業経費	11,148
その他経常費用	664
経常利益	3,885
特別損失	23
税引前中間純利益	3,861
法人税、住民税及び事業税	532
法人税等調整額	177
法人税等合計	710
中間純利益	3,150

用語解説

■資産の部

お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式での運用を表す「有価証券」など、主に資金の運用状況を表しています。

■負債の部

お客さまからお預りしている「預金」など、主に資金の調達状況を表しています。

■純資産の部

株主の皆さまからご出資いただいた「資本金」やこれまでの利益の蓄えである「利益剰余金」などを表しています。



第113期中 中間連結貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	181,807	預 金	2,440,753
商品有価証券	1,432	譲渡性預金	87,510
金銭の信託	2,001	債券貸借取引受入担保金	98,660
有価証券	916,975	借 用 金	70
貸 出 金	1,591,874	外 国 為 替	294
外国為替	12,512	そ の 他 負 債	22,249
リース債権及びリース投資資産	11,819	賞 与 引 当 金	841
そ の 他 資 産	28,801	退職給付に係る負債	538
有形固定資産	29,916	役員退職慰労引当金	9
無形固定資産	1,297	睡眠預金払戻損失引当金	693
退職給付に係る資産	2,672	偶発損失引当金	450
繰延税金資産	154	利息返還損失引当金	23
支払承諾見返	6,064	繰延税金負債	1,766
貸倒引当金	△ 6,210	再評価に係る繰延税金負債	2,875
		支 払 承 諾	6,064
		負債の部合計	2,662,804
		(純資産の部)	
		資 本 金	24,538
		資本剰余金	19,002
		利益剰余金	55,632
		自 己 株 式	△ 1,286
		株 主 資 本 合 計	97,886
		その他有価証券評価差額金	20,215
		繰延ヘッジ損益	△ 210
		土地再評価差額金	2,615
		退職給付に係る調整累計額	△ 2,393
		その他の包括利益累計額合計	20,228
		新株予約権	118
		非支配株主持分	82
		純資産の部合計	118,316
資産の部合計	2,781,120	負債及び純資産の部合計	2,781,120

第113期中 中間連結損益計算書

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	22,220
資金運用収益	13,300
(うち貸出金利息)	(8,723)
(うち有価証券利息配当金)	(4,557)
役員取引等収益	3,752
その他業務収益	4,115
その他経常収益	1,052
経 常 費 用	18,483
資金調達費用	854
(うち預金利息)	(303)
役員取引等費用	1,753
その他業務費用	3,418
営業経費用	11,622
その他経常費用	834
経 常 利 益	3,737
特 別 損 失	23
税金等調整前中間純利益	3,713
法人税、住民税及び事業税	683
法人税等調整額	136
法人税等合計	819
中 間 純 利 益	2,894
非支配株主に帰属する中間純利益	4
親会社株主に帰属する中間純利益	2,889

■経常収益

一般企業の売上高に相当し、資金運用収益や役員取引等収益などの収益を表しています。

■経常費用

一般企業の売上原価に相当し、預金利息や営業経費などの費用を表しています。

■経常利益

経常収益から経常費用を引いた、通常業務における利益を表しています。

新潟市内

- 新潟支店
- 県庁支店
- 古町支店
- 関屋支店
- 田町支店
- 小針支店
- 小針南支店
- 寺尾支店
- 流通センター支店
- 黒埼支店
- 沼垂支店
- 新潟駅前支店
- 南新潟支店
- 木戸支店
- 藤見町支店
- 物見山支店
- 石山支店
- 出来島支店
- 亀田支店
- 新津支店
- 荻川支店
- 豊栄支店
- 早通支店
- 白根支店
- 巻支店

長岡市内

- 本店営業部
- 長岡北支店
- 長岡市役所支店
- 宮内支店
- 千手支店
- 長岡東支店
- 土合支店
- 神田支店
- 川崎支店
- 新町支店
- 江陽支店
- 大島支店
- 長岡新産支店
- 栃尾支店
- 寺泊支店
- 島崎支店
- 与板支店
- 三島支店
- 関原支店
- 来迎寺支店

群馬県

- 前橋支店
- 高崎支店

埼玉県

- 浦和支店
- 熊谷支店

東京都

- 東京支店



暮らしの応援ひろば

暮らしの応援ひろば 新潟

新潟市中央区南笹口 1-2-1
(北越銀行南新潟支店内)
TEL 025-246-3941

暮らしの応援ひろば 県央

三条市旭町 2-4-31
(北越銀行三条支店内)
TEL 0256-68-3555

ローンのご相談専門店

ホクキアローナプラザ

藤見町ローンプラザ

新潟市東区藤見町 2-4-30
(北越銀行藤見町支店内)
TEL 025-271-2161

長岡ローンプラザ

長岡市東坂之上町 2-4-8
北越銀行第2ビル1階
TEL 0258-39-7370

上越ローンプラザ

上越市東本町 3-2-17
TEL 025-526-2101

ATM TOPICS セブン銀行ATMにお振り込み機能追加!

お客さまの利便性向上を目的に、平成29年10月からセブン銀行ATMにおいて当行カードによる「振込」の取扱いを開始しました。

- ※お振り込みにかかる出金手数料は無料です(振込手数料は必要となります)。
- ※当行カードでのお振り込みのみとなり、現金によるお振り込みはご利用いただけません。



北越銀行

セブン銀行ATM